

日本画像学会誌投稿規程

(2006年12月1日改訂)

1. 投稿資格

投稿原稿の著者(連名の場合はそのうち1人以上)は日本画像学会会員でなければならない。ただし、編集委員会が認める場合はその限りではない。

2. 著作権

本会誌に掲載された報文、総説、解説、資料および会員欄等のすべての記事の著作権は日本画像学会に帰属する。

3. 投稿原稿

投稿原稿は、以下に記す報文、総説、解説、資料および会員欄とし、本「投稿規定」および「投稿の手引」に従って執筆する。原稿は原則として日本語または英語で執筆する。ただし、編集委員会が認める場合はその限りでない。

4. 報文

4.1 以下に記す論文、ショートノート、研究速報の3種類の報告を報文とする。報文の内容は、すでに専門学会誌に発表されたものであってはならない。ただし、既発表の著しく専門的な報告を本会の読者のために全般的に書き改めたものは、編集委員会の承認を得て投稿することができる。投稿に当っては報文の種類を明記する

- (1) 論文: イメージング分野における画像情報の取得/記録・保存/再生/プリント/表示/処理等に関する基礎と応用、技術開発等の独創的研究で、新しい知見や価値ある結論を含み、論文としての一貫した体裁を整えた研究報告、もしくは自著の複数の結論に立脚し、総合して新しい結論を導入した研究報告。
- (2) ショートノート: 基礎研究、応用研究、技術開発などの分野における新しい知見を含む結果、有意義なデータ、あるいは新しい研究・実験手法の開発等、掲載する価値のある内容を含みそれらを簡潔にまとめた報文。
- (2) 研究速報: 独創性が高く、重要な技術開発、発見、結論等が得られ、速やかな発表が必要と考えられる報文。速やかな掲載のための処置が考慮される。投稿に当っては、速報を希望する理由文を添付する。

4.2 すべての報文の原稿は本文と英文および日本語の要旨からなり、記述は簡明なものとして冗長は避ける。論文の長さは刷上り10頁以内とする。論文はなるべく次のような形式に沿って書くことが望ましい。

序論(はじめに)、理論、実験、結果、考察、結論(まとめ)

ショートノートは刷上り2頁以内とし、研究速報は刷上り4頁以内とする。ショートノートおよび研究速報の形式は、必ずしも論文の形式にこだわらなくてよい。また、すべての報文中の(図写真を含む)表内の文字および図表の説明はすべて英語、英語で書く。英語および日本語の要旨は本文において著者が強調したい要点を含め、目的、方法および結果を要約する。英語要旨には末尾に内容に関連する **Key Words** を5種類程度記載する。

4.3 ショートノートおよび研究速報は後日、新しい内容を加え、体裁を整えて論文として投稿することができる。

5. 総説

5.1 特定の主題について、著者自身の研究成果のみならず国内外の学術雑誌ないし特定の文献に発表された研究成果もふまえて、その内容を全般にわたり広い視野から総合的に執筆された原稿を総説とする。

5.2 執筆法については報文に準ずるが、形式等は4.2にこだわらない。また、英語および日本語の要旨は省略してもよいが、英語題名と図表の英語説明の項は規定にしたがうこと。

6. 解説

6.1 特定の主題について、専門分野外の読者を対象として執筆された原稿を解説とする。

6.1 執筆法については総説に準ずるが、読者に理解しやすい内容と表現になるよう配慮すること。

7. 資料

7.1 本学会が対象とする画像情報技術分野およびその関連分野において、一般的技術や装置の紹介、海外情報報告、経済情勢の分析等、学会員の利便のための内容をもつ記事を資料とする。

7.2 執筆法については総説に準ずる。

8. 会員欄

8.1 会員の意見・提案・感想などを自由に投稿できる。刷上り1頁以内とする。

8.2 執筆形式・方法は自由でもよい。

9. Imaging Today

9.1 本会誌に掲載される **Imaging Today** は、総説、解説、資料などの内容で編集委員会が特集するものであり、原則として編集委員会からの依頼執筆とする。

9.1 執筆法についてはそれぞれ上記各項に準ずる。

10. 原稿の提出, 受理

原稿の提出は, 本学会事務局内編集委員長宛とし, それが到着した日付を受理日とする. また提出時には, 原稿の全てについてコピー1部を添付する. 投稿原稿は原則として返却しない. ただし, あらかじめ申し出があった場合にはその限りでない.

11. 原稿の審査, 再提出

- 11.1 投稿原稿の採否は, 編集委員会が審査の上決定する. また編集委員会は, 著者に内容の修正を求めることがある.
- 11.2 原稿の修正に関しては, 加除訂正を求められた個所以外は, 原則として編集委員会の承諾なしに変更してはならない.
- 11.3 内容修正を求められた原稿は, 修正の上, 新たな原稿として速やかに提出する. 6ヶ月を経た後に再提出された原稿は原則として新規投稿として扱う.
- 11.4 研究速報の審査は短期間で終了し, 速やかに掲載する.
- 11.5 審査意見などについての異議申し立ては編集委員長宛に行う.

12. 著者校正

本会誌に掲載を可とされた原稿は, 印刷時に著者校正を一回行う. 校正刷りは受取後2日以内に校正して返送しなければならない. 期限に遅れた場合は編集委員の校正をもって校了とすることがある.

13. 掲載料と論文別刷

論文掲載料は1頁2000円とする. 著者のうち希望者は別刷を購入できるものとし, 50部を単位として別に定める料金を購入するものとする.

“投稿の手引”

(2006年12月1日改訂)

1. 用紙

次の用紙を使用する.

- 1.1 本文および日本文要旨——A4判白紙
- 1.2 英文要旨, 図の説明および表——A4判白紙
- 1.3 図面——A4判白紙またはセクションペーパー (青色, 市販品)
- 1.4 写真——A4判白紙に貼りつける

2. 本文の書き方

- 2.1 A4判白紙に, 上下及び左右に各3cm以上の余白を設け, 12ポイントの文字サイズで, 40字/行×26行 (ただし行間は1行相当の空白を設ける (ダブルスペース) の要領で印字する. 文字のみの場合, おおよそ40字58行が刷上り1ページに相当する).
- 2.2 原稿の1枚目 (標題ページ) に題名 (日英), 著者氏名 (日英), また脚注として所属機関名, 所在地名 (日英) および連絡先を書く. また, 可能な場合には投稿原稿代表者の電子メールアドレスも記入する (参考例1「原稿1枚目の書き方」を参照).
- 2.3 本文は下記例のようにセクション毎に見出しと番号をつける.
例) 1. 序論
2. 実験
2.1 装置
2.2 方法
3. 結果と考察
4. 結論
謝辞
参考文献
- 2.4 文章は当用漢字現代かなづかい (平かな) を用い簡明に書く. なお, 本学会は異なる専門分野の会員の集まりであることに留意して用語, 記述が著しく専門的にならぬように配慮する.
- 2.5 術語は原則として“画像技術用語集” (日本画像学会編, 改訂版 2005.11.15) に, 物質名は原則として文部省編の“学術用語集”による. 欧語名の方がわかりやすい場合には欧文つづりでもよい. なお, 術語とまぎらわしい登録商標名例えばコピー (ヤ), リコピー, ゼロックスなど) は日本語名, 欧語名とも術語としては使用しないように留意する.

- 2.6 量記号, 符号は慣用のものに従い, 単位は原則として SI 単位に統一する.
 - 2.7 文中, 特に数式中における活字体の指定 (イタリック, ゴシック等) は明瞭にする. また, 添字のある文字, 誤解されやすい文字, 大文字と小文字の指定は一見してわかるようはっきり書く.
 - 2.8 図, 表の番号は Fig. 1, Table 1 のように書く. 写真は図 (Fig.) に含める.
3. 参考文献は参考事項の右肩に 1), 2) のように通し番号をつけ本文の最後にまとめて書く. 参考雑誌, 書籍名等の省略法, 表記法は下記の例のようにする.

例 1 雑誌の場合

- 李 源渉, 高橋 恭介: 日本画像学会誌, 38, 2 (1999).
下木原 滋, 横山正明, 三川 礼: 電写誌, 21, 25 (1982).
K. Wakita and Y. Nakamura: Photogr. Sci. Eng., 26, 183 (1982).

例 2 単行本の場合

- 井上英一, 菊池真一編: 印刷工学・, 共立出版 (1975), p. 5.
J. C. Dainty and R. Shaw: Image Science, Academic Press (1974), p. 344.

例 3 要旨集の場合 (年号のわかる要旨集の場合, (1998) 等を記載しなくてよい.)

- 小倉一哉, 面谷 信, 高橋恭介, 川居秀幸, Japan Hardcopy '99 論文集, p. 241.
T. Shohdohji and Y. Hoshino: Proc. Pan-Pacific Imaging Conference / Japan Hardcopy '98, p.355.

例 4 特許の場合 発明者 (出願者) 公告番号等

- 永井 津 (日本無線) 特開昭 58-121029.
大野 信 (日本放送協会) 特公昭 56-2324.
K. Chiba (NHK) USP-4406964 (1983).

4. 図面の書き方

- 4.1 図面は投稿原図をそのまま縮小, 写真製版の上印刷するので, 文字や説明記号の大きさ, 線の太さ, 等刷上がりサイズでの見易さに配慮して原図を作成すること.
- 4.2 原図は, 参考例 2 のように, A4 判白紙またはセクションペーパー (青色) の中央部に横 13cm 程度の大きさに高品質にプリントするかもしくはスミ入れで描き, 原図を投稿する.
- 4.3 図面中の文字, 数字および座標軸の説明は英文で書き, 高品質にプリントするかもしくはスミ入れで書き入れる.
- 4.4 図 (写真を含む) の説明は別紙にまとめて英文でタイプ (またはワープロ印字) する. 説明はそれだけで図が理解できる程度に比較的詳しく書く.
- 4.5 本文原稿用紙の右側余白に当該図面の番号を明記する.

5. 表の書き方

- 5.1 表中の文字, 数字は英文とし, A4 判用紙に英文タイプ (またはワープロ) で作表する. ただし, 内容によって日本語でなければ都合の悪い場合は日本語でよい. 説明文は表の上部に書き入れる.
- 5.1 本文原稿用紙の右側余白に当該表の番号を明記する.

6. 英文要旨の書き方

A4 判用紙に横幅約 70 字/行, ダブルスペースでタイプまたはワープロで作成する. 論文では 100~150 words, ショートノートおよび研究速報では約 100 words で要旨を書く.

7. 日本語要旨の書き方

A4 判用紙に, ワープロまたは手書きで作成する. 題名, 著者名の次に論文および総合論文では 300~450 字, ショートノートおよび研究速報では約 300 字で要旨を書く.

8. 英文報文投稿のとき

本文原稿は A4 判用紙に横幅約 70 字/行, ダブルスペースでタイプまたはワープロで作成する. また, 日本語の著者氏名, 所属機関, 住所, 連絡先 (参考例 1 参照) および日本語要旨を添付する. 文字のみの場合, おおよそ 70 字 68 行が刷上り 1 ページに相当する.

9. 原稿の提出

- 9.1 標題ページ, 英文要旨, 日本語要旨, 本文, 参考文献, 図説明, 図 (写真), 表の順にまとめた原稿およびそのコピー 1 部 を本学会事務局へ送付する.
- 9.1 掲載決定後には, 原稿のデジタルデータを納めたフロッピーディスク (原稿受付番号, 氏名, 論文題目, 使用ワープロ名および原稿のファイル名を明記したもの), 著者紹介用の写真 (裏に氏名を明記したもの), ならびに略歴 (日本画像学会誌参照) を本学会事務局を編集委員長宛に送付すること.

10. 修正原稿の再提出の方法

査読後, 内容修正を加え, 書き直した原稿 (新原稿とする) の再提出時には, 新原稿を修正前原稿 (旧原稿) と同様にとりまとめ, そのコピー 1 部, 旧原稿コピー (査読者の修正が記入されている場合あり) 1 部, 査読者の審査意見および

それに対する著者の回答書を付し事務局に送付する。なお、旧原稿の修正が軽微な場合には、当該頁の該当部分のみを書き直して新原稿としてもよい。この場合修正前の頁をコピーし旧原稿に代えて送付する。

1.1. 原稿コピーの保存

著者自身でコピーを必ず保存しておく。著者校正の際、原則として原稿を添付せずに校正ズリのみを送付するので、そのコピーにより校正を行うこととする。

◎ 原稿送付先

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
日本画像学会事務局内 編集委員長 宛
(日本画像学会 TEL: 03-3373-9576 FAX: 03-3372-4414)

◎ 掲載料と論文別刷代金 (2007年2月10日発行号より実施)

論文掲載料は1頁2000円とする。著者のうち希望者は別刷を購入できるものとし、別刷代金は50部を単位として次式で算出される:

別刷代金 = $(4000 \times m - 2000) \times \text{頁数} + 2000 \times m$ (単位: 円), ここで $m = 1 + (\text{部数} - 50) / 100$.

頁数	50部	100部	150部	200部	250部
1	4000	7000	10000	13000	16000
2	8000	11000	16000	21000	26000
3	8000	15000	22000	29000	36000
4	10000	19000	28000	37000	46000
5	12000	23000	34000	45000	56000
6	14000	27000	40000	53000	66000

カラー印刷代金は1頁3万円とし、編集委員会が必要と認めるものに限り無料とする。